

令和6年度前期分授業料徴収猶予申請要領

1 免除対象者

- 経済的理由により納入期限までに授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- その他やむを得ない事情があると認められる者

※ 徴収を猶予する期限は、前期については令和6年8月30日限りです。

2 申請書類

- (1) 授業料徴収猶予願（別紙様式第2）・・・3～4頁
- (2) 授業料免除・徴収猶予申請提出書類一覧表（別紙様式2）・・・5頁
- (3) 私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書・・・7頁
- (4) 本人等の収入状況申立書・・・9～10頁
- (5) (2) で該当する証明書類、その他本学が必要と認めて提出を求める証明書等

3 受付期間等

受付期間：令和6年3月19日（火）9:00～12:20、13:30～16:20
令和6年3月21日（木）9:00～12:20、13:30～16:20
令和6年3月22日（金）9:00～12:20、13:30～16:20

※事情により上記期間に申請ができない場合は、必ず事前に学生・留学生課に連絡の上、申請書類を提出してください。受付期間・受付時間を過ぎての提出はいかなる理由があっても受け付けません。

※社会人の学生には「事前予約制」で17:30～19:00も受付します。

受付期間：共通講義棟 S棟1階「会議室2」

注意事項

- (1) 郵送による申請は受け付けませんので、必ず申請者本人が受付期間中に受付会場で直接申請してください。黒のボールペンで濃くはっきりと記入してください。
- (2) 徴収猶予を申請した者は、選考結果が発表されるまでの間は、授業料の徴収が猶予されます。
- (3) 選考結果については、ライブキャンパスでお知らせします。
- (4) 選考結果が不許可となった者は、所定の授業料を所定の期限内に納入してください。
- (5) 申請書類に不備があると選考対象から除外されますので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備がないよう注意してください。「授業料徴収猶予願」は令和6年4月1日現在の内容で記入してください。
- (6) 月額10万円（半期60万円）以上の給付奨学金を受給する場合は猶予対象者になりません。
- (7) 選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。なお、提出いただいた個人情報、授業料徴収猶予選考以外の目的には使用されません。

<参考> 授業料免除の選考基準

下記の「1. 収入基準」及び「2. 学力基準」の両方を満たしていることが必要です。

1. 収入基準（おおよその目安です。免除予算枠を基準該当者が上回ると基準内でも免除にならない場合があります。）

世帯の特別の事情により異なるが、世帯の年間総所得金額（世帯全員の合計）が次の収入基準額以下であること。

区分 世帯人員	学類生		大学院生（修士・博士前期）		大学院生（博士後期）	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
1人	195万円	239万円	210万円	254万円	282万円	326万円
2人	294万円	338万円	318万円	362万円	432万円	476万円
3人	334万円	378万円	362万円	406万円	495万円	539万円
4人	362万円	406万円	392万円	436万円	535万円	579万円
5人	388万円	432万円	421万円	465万円	576万円	620万円
6人	406万円	450万円	440万円	484万円	602万円	646万円

* 総所得金額＝総収入金額－①必要経費－②特別控除額（世帯の特別の事情）

①必要経費

○給与収入者（年金受給者も含む。給与収入者が2人以上いる場合は各人別に行う。給与収入は所得税等控除前の額）

- ・収入金額104万円以下 ⇒ 収入金額と同じ
- ・収入金額105万円～200万円の場合 ⇒ 収入金額×0.2＋83万円
- ・収入金額201万円～653万円の場合 ⇒ 収入金額×0.3＋62万円
- ・収入金額654万円以上の場合 ⇒ 258万円

○給与収入以外の者（商業、農業、その他の職業及び臨時的所得等）

その収入を得るために費やした経費（税申告書の必要経費）

②特別控除額（世帯の特別の事情）

就学者、障害者、長期療養者等がいる場合、母（父）子家庭に該当する場合等に控除されます。

就学者＝小学：8、中学：16、高校：28～60、高専：36～80、専修17～112、大学：59～144

心身障がい者＝99、母（父）子家庭＝99 単位：万円

2. 学力基準

（1）学類学生

①1年次生

入学試験の合格者。

②2年次生以上

基準日現在の修得単位数が下表の修業年次の標準修得単位数以上であり、かつ、当該修得科目数の70%（夜間主コースは60%）以上が「B」以上の成績であること。

③編入学及び学士入学した者については、上記①を準用する。

（2）大学院生

①1年次生

入学試験の合格者。

②2年次生

申請時の修得単位数が下表の修業年次の標準修得単位数以上であり、かつ、当該修得科目数の70%以上が「B」以上の成績であること。

* 母子家庭、生活保護世帯等については、「学力基準」が若干、緩和される場合もあります。（標準修得単位数を除く）。

<修業年次の標準修得単位数（累計）> ※昨年度の例のため変更となる場合があります。

学類等	2年次生 (1年次修得単位)	3年次生 (1～2年次修得単位)	4年次生 (1～3年次修得単位)
人間発達・行政政策・経済経営・共生システム理工 ・食農・夜間主	31	62	93
大学院（修士課程・博士前期課程）	16		
大学院（専門職学位課程）	24		
大学院（博士後期課程）	6	10	

授業料徴収猶予願

福島大学長 殿

学類・大学院 ()

入学年度 (年度)

学籍番号 ()

フリガナ

申請者 (自筆) 氏 名

現住所

携帯番号

令和6年度前期分授業料を期日までに納入することが困難なため、徴収の猶予を許可して下さるようお願いいたします。

記

1. 猶 予 期 限 令和6年8月30日(金)

2. 納入が困難な理由 (詳細に申請者本人が記入すること)

.....

.....

.....

.....

3. 家族状況

	続柄	氏 名	年 齢	現在の職業(勤務先)	給与収入の計	給与収入以外の計
就学者を除く家族	本人			学生(福島大学)		
大学認定	家族数	人		独立生計者 ☐ 該 当	母子父子世帯 ☐ 該 当	
	申請区分	1:一般 2:家計 3:学力 4:事由 5:事情(家計支持者死亡) 6:事情(災害) 7:事情(その他)				辞退 ☐ 有り ☐

 部分は大学記入欄なので、記入しないこと。

	続柄	氏名	設置区分	在学学校（学年）	通学区	前年度状況（国立学校就学者のみ記入）		
						授業料免除状況		授業料年額 （千円）
						前期分	後期分	
就学者			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
特別除	母子父子世帯	※ 母無： 死亡・生別（ 年 月） 父無： 死亡・生別（ 年 月）				□ 該 当		
	障がい者のいる世帯	続柄（ ） ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者（障害あり） 続柄（ ） ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者（障害あり）				人		
	長期療養者のいる世帯	続柄（ ） 療養費（年額） 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養 続柄（ ） 療養費（年額） 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養				合計（年額） (千円)		
	主たる家計支持者の別居	住居・光熱費等（年額） 千円						
	災害・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	災害内容 被災額 千円						

記入上の注意

1. の欄は大学記入欄なので、記入しないこと。
2. ※印は、該当箇所を○で囲むこと。
3. 記入内容は、令和6年4月1日現在で記入すること。
4. 現住所は実際に住んでいる住所を記入すること。
5. 家族の職業は具体的に記入すること。専業主婦、無職等の場合であっても空欄とせず、その旨記入すること。

記入いただいた個人情報、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

令和 6 年度【授業料】免除・徴収猶予申請提出書類一覧表（留学生用）

学籍番号	
氏 名	

No.	提 出 書 類	備 考	発行所等	該当欄に○印付す	
				本人	他()
1	免除願（又は徴収猶予願）	本学所定の様式 (別紙様式第 1 又は第 2)		○	
2	提出書類一覧用(留学生用)	本学所定の様式 (別紙様式第 2・この表)		○	
3	私費外国留学生の授業料免除 等に関する調書	本学所定の様式		○	
4	本人等の収入状況申立書	本学所定の様式 (配偶者が同居している場合は必ず 裏面・配偶者分も記入すること)		○	
5	令和 4 年分所得課税証明書 ・課税証明書	令和 5 年 1 月現在に日本にい た場合（配偶者も含む）	市区町村 役所	○	
	【重要】 ＊所得課税証明書の名称は自治体によって名称が変わります。 ＊課税額の内訳（所得割額、均等割額）配偶者控除、扶養控除人員数等の記載があるものを取得すること。				
6	令和 5 年分の源泉徴収票 又は最近の給与明細のコピー	アルバイト従事者は必ず提出 すること（配偶者も含む）	勤務先		
7	アパートの契約書のコピー※	学生寮・国際交流会館に居住 している者は除く	当該者 保管分	○	
8	最新の光熱・水道料請求書 又は領収書のコピー※	全員提出	当該者 保管分	○	
9	最新の電話料請求書 又は領収書のコピー※	全員提出	当該者 保管分	○	

注意事項

- (1) 各種証明書類は申請日の 3 か月以内の証明のものに限る。
- (2) 7※アパートの契約書は、アパートの名称、住所、居住者の氏名、家賃が確認できる部分をコピーして提出すること。
- (3) 8※、9※の請求書や領収書は、書類をならべて A 4 判 1 枚にコピーしたものを提出すること。

記入いただいた個人情報、免除選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書

学籍番号 _____

氏 名 _____

本人の家計及び生計（基準日の前月の状況を記入すること）

収 入（月額）		支 出（月額）	
仕 送 り	円	住 居 費	円
親 戚 等 の 補 助	円	食 費	円
奨 学 金	円	医 療 費	円
ア ル バ イ ト	円	交 通 費	円
	円	光 熱 水 道	円
	円	通 信 電 話	円
	円	国民健康保険料	円
	円	そ の 他	円
計	円	計	円
(現況の概要)			

*申請基準日：令和6年4月1日

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

本人等の収入状況申立書

福 島 大 学 長 殿

学籍番号_____

氏 名_____

このたび、福島大学の入学料免除等の出願にあたり、本人の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

1. 前年（令和5年1月～12月）にアルバイト等していた場合に1年間の総収入額を記入すること

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

2. 本年（令和6年1月～12月）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合に、1年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

3. 令和6年度の仕送りについて（必ず記入すること）

続柄_____から年額_____円（予定額を含む）

注 意 事 項 等

- ① 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
- ② 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
- ③ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

配偶者の収入状況

※配偶者がいる私費外国人留学生は、配偶者の収入状況を下記に記入してください。

このたび、福島大学の入学料免除等の出願にあたり、配偶者の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

1. 前年（令和5年1月～12月）にアルバイト等していた場合に1年間の総収入額を記入すること

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

2. 本年（令和6年1月～12月）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合、1年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

3. 令和6年度の仕送りについて（必ず記入すること）

続柄_____から年額_____円（予定額を含む）

注 意 事 項 等

- ① 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
- ② 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェ이터など具体的に記入してください。
- ③ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。